

平成27年度事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

公益目的事業1 平和普及啓発事業

1. 講演会等の普及啓発

(1) 2015年度財団フォーラム

開催日 平成27年12月1日(火)
場 所 東京都千代田区 日経ホール
テーマ 「ソウル・オブ・マネー ～豊かな人生を生きるために」
参加者 日経ホール 約600名 19か国の大使館
内 容 開会挨拶 理事長
国際ユース作文コンテスト授賞式と発表
「心の中に平和を築く」
五井平和賞授賞式ならびに受賞記念講演
社会活動家・ファンドレイザー リン・ツイスト
トークセッション「夢を実現するには」
リン・ツイスト、本田健、会長、理事長

(2) 東京講演会

「講演会シリーズ：21世紀の価値観」

① 第43回講演会

講 師 舘岡康雄 静岡大学大学院教授 工学研究科-事業開発マネジメント専攻
開催日 平成27年6月25日(木)
場 所 東京都渋谷区 東京ウィメンズプラザ
テーマ SHIEN(支援)学：新しい時代の生きかた・働きかたへ
参加者 148名

② 第44回講演会

講 師 西條剛央 株式会社本質行動学アカデメイア代表
早稲田大学大学院(MBA)客員准教授
開催日 平成27年9月29日(火)
場 所 東京都渋谷区 東京ウィメンズプラザ
テーマ より良い社会をつくるためのヒント～「人を助けるすんごい仕組み」と「本質行動学」の視座から～
参加者 130名

③ 第45回講演会

講 師 安田菜津紀 フォトジャーナリスト
開催日 平成28年3月29日(火)
場 所 東京都渋谷区 東京ウィメンズプラザ
テーマ 写真で伝える世界の子どもたち～カンボジア、東北、シリア難民～
参加者 132名

(3) 2015年度財団会員総会

開催日 平成28年2月14日(日)

場所 高知城ホール(高知市)

参加者 賛助会員・一般 約70名

内容 財団のビジョンと事業報告、参加者と財団職員のグループ別懇談など

(4) 賛助会員活動の推進

① コミュニケーター制度

コミュニケーター通信 Vol.22~Vol.24 発刊

② Living New ワークショップ

人が輝ける生き方を応援し、人と人、人と社会をつながげながら、新しい未来をつくっていくプロジェクト

○あるがままの自分を知る・気づく・見つめる場の提供

○人の在り方、考え方、感じ方の多様性を共感、共有する場の提供

○自分の特性を社会に活かすサポート

オープンカフェ東京7月25日(土)、2016年1月31日(日)

オープンカフェ名古屋12月12日(土)、

オープンカフェ高知2016年2月13日(土)

LNコース 第5期4月11日(土)、4月25日(土)

第6期9月19日(土)、10月3日(土)、10月17日(土)、

10月31日(土)

LNコース修了生の会8月29日(土)

③ 自主活動

-第23回広島ピースセレモニー

8月6日(木) 広島市原爆ドーム東側広場

約500名の参加者

西園寺理事長メッセージ代読、財団より職員派遣

-第16回長崎ピースセレモニー

8月9日(日) 長崎平和公園

約200名の参加者

ワールド・ピース・プレイヤー・ソサエティ副代表挨拶、財団より職員派遣

-ピースメーカー活動

2015.3.21	春分の日のリレーWPPC 国内から128カ所、148人以上の方に、海外は5か国以上、96カ所からご参加
2015.3.26	イタリア、セナ・コマスコ、カンツの高校にて、フラッグセレモニーとPP 建立 市長も参加
2015.3.28	イタリア、セナ・コマスコ、サンドロ・ペルティエニ国立中学校にて、フラッグセレモニーとPP 建立
2015.4.19	兵庫県豊岡市のシルク温泉宿やまびこにピースポール建立
2015.4.21	京都市の大徳寺保育園で第12回目のWPPCを開催
2015.6.21	夏至の日のリレーWPPC 国内から36カ所、54名以上、海外は11か国以上、41カ所から参加
2015.7.17	神戸市の風月堂ホールにて、神戸日西協会の駐日スペイン国大使の歓迎レセプションにてWPPCとPP 贈呈
2015.8.13	東京都品川区のザンビア大使館大使公邸にPP 建立
2015.8.31	長野県、松本市のカフェギャラリーにてWPPC開催
2015.8.6	高知南国市の長岡合気道場にて広島グローバルリンクWPPCを開催
2015.8.6	広島県広島市の原爆ドーム前にて第23回広島WPPCを行った ドイツのハノーバー市長も参加

2015.8.9	イギリス、ダンフリーズ市のダンフリーズミュージアムにて広島・長崎のメモリアル行事を開催、ピースポール建立
2015.8.9	長崎県の平和公園にて第 16 回長崎WPPC開催
2015.8.9	富山県護国神社にて WPPC 開催
2015.8.9	長野県安曇野市の個人宅で WPPC 開催
2015.8.9	福島市にて終戦 70 年の WPPC を開催
2015.8.9	埼玉県川越市のお店で長崎グローバルリンクの WPPC を開催
2015.8.9	埼玉県川口市のマンション集会所にて WPPC 開催
2015.9.21	フィリピンのバギオ市のブルギーイメルダ村にてロータリークラブの協力でピースポール建立
2015.9.21	オランダのヴァルブルグ市の Lewe van Aduardplein にて国際平和デーの記念にピースポール建立
2015.9.21	アメリカのアイダホ州サンドポイントにて国際平和デーにあわせて教会に PP を建立しピースガーデンが作られた。市を代表して市議長が平和都市宣言をした。
2015.9.21	フィリピンのバギオ市の国立腎臓移植研究所にて国際平和デーにあわせて WPPC を開催。
2015.9.21	オーストラリアのジーロング市で国際平和デーの核廃絶イベントで WPPC とピースマーチを行なった。
2015.9.21	静岡富士宮市のドクターズヴィレッジにて国際平和デーの WPPC を開催 参加 10 名
2015.9.21	オランダ、アムステルダム市の旧ルーテル教会オウデル・サス・ケルクにて、国際平和デーのフラッグセレモニー開催
2015.9.21	岡山市の石山公園にてWPPC開催 その後同市の中心部にてピースウォークを開催
2015.9.23	秋分の日のリレーWPPC 国内から 25 カ所、236 名以上が参加（海外は国際平和デーの行事で代替）
2015.10.11	三重県伊勢市の伊勢祭にて、WPPC、ピースパル国際アートコンテストの作品展示を行った。
2015.10.14	山形県新庄市の鳥越八幡宮に PP 建立
2015.10.15	ポーランド、ワルシャワ市のアジア太平洋博物館にて WPPC を開催。1990 年の第一回ポーランド WPPC 以来の来賓が多数参加。
2015.10.18	北海道函館市の五稜郭タワーにて WPPC 開催
2015.10.28	群馬県伊勢崎市の華蔵寺公園野外ステージにて WPPC 開催
2015.11.1	岐阜県大垣市にて地元 WPPS グループの 50 周年記念のピースセレモニーとピースポール建立を行った。参加者 40 名
2015.11.11	アメリカのインディアナ州シェラービルのタウンホールにて、退役軍人の日にピースポールを建立
2015.11.28	宮城県蔵王町の平沢だるま神社にてピースポール建立
2015.11..30	沖縄県、那覇市新都心公園にて WPPC を開催 参加多数
2015.12..23	冬至の日のリレーWPPC 国内から 41 カ所、125 名以上が参加。、海外からも参加多数。
2016.2.4	岡山県玉野市立後閑小学校にてフラッグセレモニーを開催 岡山ユネスコ協会と平和の樹の協働で総合学習の時間に「世界のなかの日本と私たち」をテーマ行った。
2016.3.4	3 月末まで、三重県伊勢市の百五銀行伊勢支店にてピースパル国際アートコンテストの展示会を開催
2016.3.11	宮城県名取市の真言宗観音寺にて東日本大震災の追悼WPPCを開催
2016.3.21	春分の日のリレーWPPC 国内から 25 カ所、155 名以上、海外から 26 カ国、109 カ所から参加

(5) 国際理解に資する交流事業

① ユネスコとの交流事業

- ・ ユネスコ創設70周年記念事業・国際ユース作文コンテスト
- ・ ユネスコ ESD-GAP パートナー・ネットワーク参画
 - *ESD (持続可能な開発のための教育: Education for Sustainable Development)
 - *GAP (ESDに関するグローバル・アクション・プログラム: Global Action Program)

② 国連との交流事業

世界宗教間の調和週間: 持続可能な開発目標 (SDGs) 変革の遂行
国連文明の同盟 (United Nations Alliance of Civilizations)、国連宗教 NGO 委員会、ワールド・ピース・プレイヤー・ソサエティ (財団姉妹団体) 共催
日時: 2016年2月3日
会場: 国連本部 (ニューヨーク)
「持続可能な開発目標 (SDGs)」支持表明ならびに「世界宗教間の調和週間」のイベントで会長のスピーチ

③ ヨーロッパ拠点活動

ヨーロッパ代表 (ミュンヘン) における財団事業の展開
国連、パリユネスコ本部等国際機関との窓口

(6) 「富士宣言」推進 (パートナー組織および事務局として)

① 『富士宣言』発足記念 東京シンポジウム

日時: 5月15日 (金)
会場: 国連大学ホール
参加者: 国内外の様々な分野で活躍するリーダー50名
プログラム:

「富士宣言」発起人挨拶
グループディスカッション (富士宣言共鳴ポイント、参加動機等の共有)
導入プレゼンテーション (あなたの人生を導いてきた使命、深い問いはなんですか)
分科会 (経済・ビジネス/教育/環境・テクノロジー/メディア・文化/政治・ガバナンス・社会運動/科学・意識/スピリチュアリティ・宗教分野における変化の兆し・ビジョン・アクション)

② ワールド・ソート・リーダーズ・フォーラム (世界思想リーダーズ・フォーラム)

6月6日 (土) ミラノ・エキスポ 2015 ハンガリーパビリオンで開催
会長、理事長による「富士宣言」プレゼンテーション

③ サミット・オブ・コンシエンス (気候良識サミット)

7月21日 (火) 気候変動枠組条約第21回締約国会議 (COP21) プレ・イベント
理事長による「富士宣言」プレゼンテーション
会長による「Why Do I Care キャンペーン」寄稿

④ 富士宣言×経済・ビジネス 未来を共創するダイアログ (プレ・フォーラム)

日時: 11月30日 (月)
会場: 国連大学 レセプションホール
参加者: 2015年五井平和賞受賞者リン・ツイスト
経済・ビジネス分野のNPO代表等の若者を中心とした11名
プログラム:

理事長挨拶
セッション1 (自分の神聖なる精神とつながった「ライフ・ストーリー」の共有)
セッション2 (個人の課題から人類の課題を導き出す)
セッション3 (生み出した問いへの「私のアクション」)

(7) 各種情報媒体の制作と頒布

①機関誌「平和の創造」発行

季刊 各約 6,000 部作成と発送

活動報告、新しい方向性、イベント情報等を掲載

②WPPS ニュース発行

季刊 各約 6,000 部作成と発送

ピースメーカーの活動報告、キャンペーン情報等を掲載

③インターネット・ソーシャルネットワークサービス (SNS)

<五井平和財団>

ウェブサイト、フェイスブック (日英) 定期更新

メールマガジン (日英) 発刊

<ESD ユース>

ESD 日本ユース・コンファレンスウェブサイト/フェイスブック (日英) 定期更新

ESD ユース参加者運営の SNS

「ESD 日本ユース情報局」フェイスブック/ツイッター

ESD ユース地区ごとの LINE グループ

<地球っ子広場>

ブログ定期更新

<ユース・社会起業家コンペティション>

オンライン・コンペティション

オンライン・キャンパス

<富士宣言>

ウェブサイト/フェイスブック (日英) 定期更新

メールマガジン/ツイッター (日英) 発刊

<Living New>

ブログ定期更新

<平和科学調査研究会>

ウェブサイト (会員制)

<WPPS>

ウェブサイト/フェイスブック定期更新

メールマガジン/ツイッター発刊

④各種行事の動画配信

・「講演会シリーズ：21 世紀の価値観」

第 43 回講師 舘岡康雄/静岡大学大学院教授

SHIEN (支援) 学：新しい時代の生きかた・働きかたへ

・2015 年度 五井平和財団フォーラム

「ソウル・オブ・マネー ～豊かな人生を生きるために～」

⑤各種行事のDVD制作

・2015 年度会員総会DVD

・2015 年度五井平和財団フォーラムDVD

2. 顕彰と助成

五井平和賞

リン・ツイスト

社会活動家、ファンドレイザー、著述家、コンサルタント

リン・ツイスト氏は、世界的な社会活動家、ファンドレイザーとしての豊富な経験と深い洞察から、お金と人間の関係について新たな見識を得ました。

そして、人々が人生における真の価値と尊厳を見出し、お金の支配されるのではなく、お金を正しく使うことで自他が共に幸せになり社会に寄与する生き方ができるよう、意識変革に取り組んできました。

また、貪欲な経済活動と所有欲が引き起こしている地球環境問題や不平等な分配等の課題を根本から解決する方法として、社会システムの経済至上主義からの転換を訴え、人々の意識啓発とエンパワメントを目的とする活動を続けてきました。

人々の人生観、世界観に変容をもたらすことにより、すべての人々にとって真に豊かな公正且つ持続可能な世界の実現をめざす、ツイスト氏の長年の社会啓発活動とその功績に対し、五井平和賞を授与するものです。

■授賞式 平成27年12月1日（火）2015年度財団フォーラムで実施

■選考委員

委員長	佐藤 禎一	東京国立博物館名誉館長・元ユネスコ特命全権大使
	明石 康	公益財団法人国際文化会館理事長・元国連事務次長
	有馬 朗人	日本科学技術振興財団会長・物理学者・元文部大臣
	近衛 忠輝	日本赤十字社社長
	西園寺昌美	五井平和財団会長
	田坂 広志	多摩大学大学院教授・シンクタンク・ソフィアバンク代表
	村上 和雄	筑波大学名誉教授・国際科学振興財団バイオ研究所所長

* 敬称略・50音順

3. 研究会等の調査研究

(1) 平和科学調査研究会

①全体会 3回開催

7月12日、11月3日、3月26日

各分科会成果発表

『新しい文明』に関わる事例発表

第2フェーズの総括、第3フェーズのテーマ（つながり）発表

②運営委員会 4回開催

全体会、分科会の方針、プログラム等討議決定

4月1日、6月17日、10月2日、3月9日

③分科会活動

○幸せの価値観：情報収集、調査資料ジャンル別整理等

○ESD・教育：地球っ子広場にみる現場教育のメソッド調査

○震災復興：震災から考える日本の未来と自然について調査

○科学的事例調査：がん治療事例、宇宙太陽光発電等調査

○平和へのシナリオ：平和へのプロセス研究・ディスカッション

○自由研究：最先端物理学理解に向けた基礎理論の直観的把握

公益目的事業 2 平和教育事業

1. 国際交流プロジェクト

- (1) 群馬県立女子大学連携講座「国際理解と平和」
 平和について考える大使リレー講座
 10周年サブテーマ「外交面での女性の活躍」
 通期火曜日 計15回開催

期日	役職	講師（敬称略）	備考、テーマ
4月28日	公益財団法人 五井平和財団 常務理事	川村 真妃	私にとっての平和とは
5月19日	特定非営利活動法人 国境なき子どもたち 会長	寺田 朗子	「学べる」ということ—国境なき子どもたちで学んだこと
5月26日	駐日シリア・アラブ共和国臨時 代理大使	ワリフ・ハラビ	シリア危機前後でのシリア女性の地位について
6月2日	駐日アイルランド特命全権大使	アン・バリントン	日本とアイルランド：文化・平和・平等について
6月16日	駐日ボスニア・ヘルツェゴビナ 特命全権大使	アネサ・クンドウロビッチ	社会における女性の昇進について
6月23日	駐日中華人民共和国特命全権大使 夫人・中華人民共和国大使館友好 交流部参事官	汪 婉	「女性の輝く社会」における女子大生の進路について～中国との比較の視点から～
6月30日	外務省総合外交政策局女性参画推 進室長	松川るい	外交面での女性の活躍
7月7日	駐日ナミビア共和国特命全権 大 使	ソフィア＝ナムパ・ナン コンベ	ナミビア社会における女性と若者の役割など
7月21日	フォトジャーナリスト	安田 菜津紀	写真で伝える”世界”と”東北”
10月6日	駐日トンガ王国特命全権大使	タニア・ラウマヌルペ・ ツポウ	女性とトンガ
10月20日	駐日イスラエル国特命全権 大 使	ルツ・カハノフ	イスラエルについて
11月17日	<10周年記念行事> <u>基調講演</u> 明石塾塾長・元国際連合事務次長 <u>パネルディスカッション</u> 明石塾塾長・元国際連合事務次長 UN Women 日本事務所所長 認定NPO 法人 日本紛争予防セ ンター理事長	明石 康 明石 康 福嶋 香代子 瀬谷ルミ子	これからの国際社会で活躍するために
12月8日	駐日コスタリカ共和国特命全権 大使	ラウラ・エスキベル	日本とコスタリカ—平和と女性—
12月15日	公益財団法人 日本ユニセフ協会 学校事業部職員	高円 承子 (高円宮承子女王殿下)	世界の現状と国際協力・ユニセフの視点から-
12月22日	アフリカ連合・アフリカ開発新 パートナーシップ機構総裁特別 顧問	池亀 美枝子	激動する世界情勢とグローバル市民としての国際貢献

(2) 駐日外交官による交流プロジェクト

4月16日(木)

実施校：福島市立渡利中学校 4名

教科等：学校行事(修学旅行)

大使館・講師：サウジアラビア王国大使館 清水春奈職員

2. 2015年度 国際ユース作文コンテスト(ユネスコ創設70周年記念事業)

主催 公益財団法人五井平和財団

後援 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、NHK、日本経済新聞社、
日本私立中学高等学校連合会、東京都教育委員会

協賛 フェリシモ株式会社

テーマ 『心の中に平和を築く』

応募数 世界148の国と地域から合計12,960点
(子どもの部4,017点、若者の部8,943点)

授賞式 平成27年12月1日(火) 日経ホール(東京都千代田区)

文部科学大臣賞 (各1点)

<子どもの部> 平和へのかぎは満足すること

ウダヤン・サハ(10歳/インド・ダウン・インターナショナル・スクール・デヘラードウン校)

<若者の部> 平和の構築は内から始まる

ナラヤン・クルカルニ(20歳/アメリカ・フロリダ大学)

学校特別賞

松本秀峰中等教育学校(長野県)

優秀賞 各2点

入選 各5点

佳作 各25点

学校奨励賞 41校

- 選考委員 委員長 千玄室(茶道裏千家前家元、日本国際連合協会会長)
西園寺昌美(五井平和財団会長)
鈴木斌(全国高等学校国語教育研究連合会顧問)
都倉俊一(作曲家、日本音楽著作権協会会長)
松浦晃一郎(前ユネスコ事務局長)
美内すずえ(漫画家)
葉祥明(絵本作家)

敬称略・50音順

作文コンテスト受賞者による学校・大使館訪問

12月2日 東京都大田区立大森第六中学校 ウダヤン・サハ君
東京学芸大学附属国際中等教育学校 ナラヤン・クルカルニさん

3. 地球っ子広場

(1) 地球っ子広場各地区展開

- 活動趣旨 子どもたちが放課後や休日に、広く社会と触れ合える和気藹々たる居場所を創設し、保護者、地域の人々が集う、良き地域コミュニティを目指し、生命・平和・環境等を大人と子どもが共に学ぶ広場を運営した。
- 後援 ユネスコ国内委員会
- 認定事業 ユネスコ本部より「E S D の 1 0 年の公式活動」認定を受ける
- 活動実績 ※詳細は、「平成 2 7 年度地球っ子広場事業報告」参照

No.	教室名	回数	備考
1	奥州	36 回	
2	ピースらんど	12 回	
3	仙台	12 回	
4	五井	24 回	
5	いすみ	6 回	
6	自由が丘	12 回	
7	豊田	12 回	
8	さむかわ	12 回	
9	新潟	36 回	
10	富士 SUN 山	24 回	
11	きょう	12 回	宇治市木幡公民館子どもの居場所づくり支援事業
12	タカラヅカ	40 回	宝塚市桜台小学校、長尾台小学校で開催 宝塚市教育委員会助成事業
13	甲陽園	5 回	甲陽園地区青年愛護協議会内組織
14	フランス	1 回	ブルターニュ地方の公立小学校にて開催

(2) 地球っ子キャラバン

東日本大震災の被災した子どもたちを支援するためのプロジェクト

6 月 1 9 日 (金) 福島市学童保育「オレンジハウス」

参加した子ども 3 0 名の半数は原発事故避難者。プログラムは体を動かすヨガ、本の読み聞かせ、フラワーセラピーのオブジェ作りなど。

1 2 月 1 1 日 (金) 宮城県石巻市立北上小学校

被災小学校の全校児童、教職員の方々に、奥州教室とピースらんど教室の子どもたちがりんご栽培体験で収穫し、「笑顔」「夢」などの文字入れをしたりんごの贈呈。

(3) 地球っ子広場研修会

日 時：3 月 1 2 日 (月) 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0

会 場：富士市文化会館ロゼシアター (静岡県富士市)

参加者：8 教室 1 6 名、オブザーバー 6 名、スタッフ 2 名参加

内 容：

各広場からの活動報告、ワークショップ (とげとげをふわふわにするワーク)、ディスカッション (「参加者を増やすためには?」、「多文化、多国籍、子どもたちが生きる未来の日本を見つめて」)

4. ユネスコ活動・ESD（持続可能な開発のための教育）

(1) 平成27年度日本／ユネスコパートナーシップ事業

事業名：第2回 ESD 日本ユース・コンファレンスの開催ならびにユース世代のプラットフォーム構築に向けたオンライン・ディスカッションの実施支援

共催：文部科学省、ユネスコ国内委員会、五井平和財団

協力：一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト (GiFT)

① 第2回 ESD 日本ユース・コンファレンス

日時：10月10日～11日

会場：クロスウェーブ府中（東京都府中市）

参加者：18から35歳の ESD 実践者50名

- ・9月中旬からウェブサイト上で事前オンライン・ディスカッション
- ・10月10日（土）

ダイアログ（「私たちはなぜ、ここにいるのか」、「私たちに期待されるものは何か」）

グループセッション（「自分史」の共有）

ピア・ラーニング

- ・10月11日（金）

グループセッション（「今後、ESD を盛り上げていく上で、私がしたいことは何か」、「今後 ESD を盛り上げていく上で一緒にやりたいことは何か」）

ESD ユース情報局、ESD シンクタンク、ESD つながり MAP など9つのプロジェクトが発足

② ESD 日本ユース・プラットフォーム会合

日時：2016年1月23日（土）

会場：グランパーク プラザ会議室（東京都港区）

参加者：第1回、第2回 ESD 日本ユース・コンファレンス参加者とその協力者

- ・自己紹介（「私の ESD 活動」、「コンファレンス後、どのような活動をしたか」、「今だから思うコンファレンスの価値」、「今日の会合への期待」）
- ・第2回コンファレンスで発足した9つのプロジェクト進捗報告
- ・ダイアログ（プラットフォームについて）
- ・有志によるピア・ラーニング（「学びの市場」学校の中の ESD 探し）

(2) ユース・社会起業家コンペティション

内 容：持続可能な開発目標（SDGs）の達成に資するアイデアやプロジェクトを募り、若者の社会起業を奨励・育成するオンラインキャンプおよびオンラインコンペティション

主 催：五井平和財団、スティブタンク・アントレプレナーシップ財団、デジタル・ヘイマット

後 援：国連平和大学、国連グローバル・コンパクト PRME(Principles for Responsible Management Education)プログラム、国際労働機関 SIYB(Start and Improve Your Business)プログラム

応募資格：15～35歳

応募部門：ベスト・アイデア部門、ベスト・プロジェクト部門

応募締切：1月～6月30日（木）

附属明細書 (案)

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成28年4月

公益財団法人 五井平和財団